

2022年度 シラバス原簿						タイトル		講義内容と事前事後学習内容	
科目名 英語名	総合科学特論「現代社会を知る」 General Science ~Concerning Modern Society~					1 週	ガイダンス	事前 2.5hr	シラバスの内容を読んでおく。自分が千葉工業大学に入学しようと思った動機を振り返り、まとめておく。
	科目 担当者	小宮 一仁						事後 2.5hr	講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
開講学期		時間数	単位	科目の区分	曜日時間	履修制限	2 週	日本の予算制度、 財政の現状と課題	事前 2.5hr
	事後 2.5hr								講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
4・6学期	2	2	選択	木曜日5・6限	特になし	3 週	税、社会保障の仕組み、現状と課題	事前 2.5hr	日本の社会保障制度の構造について調べて、まとめておく。 日本の財政制度や現状を考察する2週目は、歳入の大宗を占める租税について、その基礎理論に加えて基幹的な税目である所得税、法人税、消費税を概観していく。歳出については社会保障費、とりわけ医療、年金、介護に焦点を当ててその制度と運用の両面から展開する。【講義担当：田代政司特別教授(元会計検査院事務総長)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】
目的	[目的] 学生の知識・教養を高め、果敢にして実行力のある意志を培い、豊かなそして堅実な人格を陶冶するために、現代社会の仕組みを総合的に教授することを目的とする。 [授業概要] 120分を、①授業の紹介、②途中休憩を挟んで約100分の講義、③約15分の討議。①と③の進行は、毎回小宮学事顧問が行う。②の講義は、学事顧問と特別教授が担当する。					4 週	リーダーシップ論(1)	事前 2.5hr	リーダーシップの概念について調べて、まとめておく。 リーダーシップの意義を理解する。①事例を通じリーダーシップに重要と思われる事項を講義する。②リーダーシップの意義、自らの資質を伸ばすために必要な事項を講義する。学生がリーダーシップの意義についての概要を理解することを目的とする。講義担当：岩村公史特別教授(元陸将)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】
								事後 2.5hr	講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
注意事項・ 学習アドバイス	※対面式の授業を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況によってはそれ以外の形式の授業になる場合もあります。 ※この科目は寄付講座ですので、担当講師は千葉工業大学学事顧問及び千葉工業大学特別教授となります。講義に関するお問い合わせは、教務課に連絡して下さい。					5 週	リーダーシップ論(2)	事前 2.5hr	歴史上で強いリーダーシップを持っていると感じる人物を選び、その業績をまとめておく。 リーダーシップの体系、考慮事項について理解させるとともにリーダーシップを発揮する要領について講義する。①リーダーシップの体系と考慮事項について講義する。②組織的リーダーシップの手順とリーダーシップの一例を紹介する。学生がリーダーシップを発揮する要領についての基礎を理解することを目的とする。講義担当：岩村公史特別教授(元陸将)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】
								事後 2.5hr	講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
到達目標	・自分が学んでいる専門分野と現代社会の動向を結びつけて考えることができる。 ・工学分野が現代社会と強い関係性にあることを理解し、その一例を説明することができる。					6 週	洋上風力発電を通じてカーボンニュートラルについて考える	事前 2.5hr	再生可能エネルギーは今後の主力電源と位置づけられており、カーボンニュートラルを実現する大きな柱となっている。特に、洋上風力発電は大規模化等による発電コストの低減も期待されており、日本において本格導入が始まった。我が国において今後大きな発展が予想されている洋上風力発電を軸に現代社会を考えていきたい。【講義担当：菊地身智雄特別教授(元国土交通省技監)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】
								事後 2.5hr	講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
評価基準	期末試験 0% 中間試験 0% 小テスト(0回)0% 提出物(6回)100% プレゼン(0回)0% 各講義担当者(6名の予定)が、講義内容に係るそれぞれ100点満点の理解度確認のための課題を出題する。複数回の講義を行う講義担当者(6名)の場合は、出題される課題は1回とは限らないが、各講義担当者の課題の合計得点は100点である。したがって、総得点(満点)は600点となる。課題の指示に従ってレポート等を提出し、全提出物の得点の合計点を7で除した得点が60点以上を合格とする。					7 週	文化の目録「世界文化に技術で貢献する」千葉工業大学の設立趣意書を読み、設立趣意書に書かれた千葉工業大学設立の理想や千葉工業大学の建学の精神が、現代そして将来の世界人類のために役立つ内容であることを理解する。【講義担当：小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】	事前 2.5hr	千葉工業大学が創立された1942年(昭和17年)前後の国際情勢について調べておく 旧制大学として創立された千葉工業大学の設立趣意書を読み、設立趣意書に書かれた千葉工業大学設立の理想や千葉工業大学の建学の精神が、現代そして将来の世界人類のために役立つ内容であることを理解する。【講義担当：小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】
								事後 2.5hr	講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
関連科目	なし					8 週	欧米の高等教育	事前 2.5hr	入試から、大学での授業、大学生活を振り返って、それが自分の将来に役に立つかどうかを考えておく。 イノベーションを生み出す人材を養成に欠かせない高等教育。欧米先進国の高等教育の現状と日本との違いについて、英国の大学の教員経験者、米国から招いた米国の大学の教員、米国の大学で博士の学位を取得した者によるトークセッションを行う。【講義担当：小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】
								事後 2.5hr	講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
参考書・参考資料等	必要に応じて別途案内します。					9 週	日本型イノベーションと世界(1)	事前 2.5hr	日本社会におけるイノベーションの事例を調べて、まとめておく。 三木清という思想家を取り上げる。太平洋戦争前に人気があった思想家だが、戦前の軍人政治によって弾圧され、獄中で亡くなった。三木清の「構想力」や「技術」に関する本を通じて、日本文化と技術の結びつきに触れる機会にしたい。【講義担当：土屋忠一郎特別教授(前明治大学学長)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】
								事後 2.5hr	講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
						10 週	日本型イノベーションと世界(2)	事前 2.5hr	日本社会におけるイノベーションの事例を調べて、まとめておく。 思想家 三枝博音の「技術の哲学」(岩波全書)を取りあげ、技術の哲学について考える機会にしたい。【講義担当：土屋忠一郎特別教授(前明治大学学長)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】
								事後 2.5hr	講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
						11 週	東アジア情勢と日本の政治の行方	事前 2.5hr	マスメディアの役割について調べて、まとめておく。 日々刻々と変化する政治情勢やそれを伝える報道の基本的な仕組みについて特に日本を含む東アジアの情勢について講義する。また、世界の中で日本が置かれている状況や、日本の政治に求められている役割についても触れる。【講義担当：石橋文登特別教授(元産経新聞編集局次長・政治部長)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】
								事後 2.5hr	講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
						12 週	科学技術の変遷と国家(1)	事前 2.5hr	ルネサンス期の科学の発展について調べて、まとめておく。 古代から中世までの科学技術の変遷と、時々の先進技術や工学が国の発展にどのように寄与したかについて教授する。【講義担当：小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】
								事後 2.0hr	講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
						13 週	科学技術の変遷と国家(2)	事前 2.0hr	Alterコロナに科学技術が果たすべき役割を考え、まとめておく。 近代以降の科学技術の変遷を教授し、新型コロナウイルス感染終息後の世界を見据えて、千葉工業大学の学生が何を学び、何を身に付けるべきかということ、各界の意見を紹介しつつ、考察する。【講義担当：小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】
								事後 2.0hr	講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。